

授業科目名 (英訳)	情報組織化・検索論 Information Organizaion and Retrieval					担当者所属 職名・氏名	情報学研究科 教授・田中 克己				
配当学年	1・2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 後期	曜時限	木/2	授業形態	講義	使用言語	英語
〔授業の概要・目的〕											
<p>情報の概観・検索・把握を行うための情報組織化と情報検索の基礎概念と実際の技術・応用について講述する。具体的には、情報検索技法（情報検索の基礎、情報の分類・ランキング、あいまいな情報の検索等）、代表的な情報モデリング（意味データモデリング、時空間情報モデリング、マルチメディア情報モデリング）を取り上げて講述する。受講者は、これによって、情報の組織化や検索がどのように行われているか、その基礎概念および実際の技術や応用を学ぶ。</p>											
〔到達目標〕											
<p>情報検索技法（情報検索の基礎、情報の分類・ランキング、あいまいな情報の検索等）、情報の概念モデリング、時空間情報のモデリング、マルチメディア情報のモデリングに関して、その基本概念と表現方式、および、これらを用いた情報モデリングを実際に行えるために必要となる知識や技能などが獲得できていること。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>[1] 情報検索技術：5～6回 情報検索の基礎、情報の分類・ランキング、あいまいな情報の検索等を取り上げて講述する。</p> <p>[2] 情報の概念モデリング：3回 代表的な意味データモデル（semantic data model）をとりあげ、その概念および使用法について講述する。</p> <p>[3] 時空間情報のモデリング：3回 空間情報のモデリング手法に関する事項として、GIS分野でよく知られている地理情報標準やGIS分野におけるUMLの適用、各種の地理情報表現用のデータモデルの基本概念と表現方法について述べる。また、時間情報・空間情報を併せて表現する手法として、時空間情報モデルについても講述する。</p> <p>[4] マルチメディア情報のモデリング：3回 文字・画像・ビデオ動画・CGデータなどのマルチメディア情報の表現方法、および、これらを複合化させたマルチメディア・コンテンツのためのモデリング手法の概要を述べる。具体的には、タイムラインモデル、時間区間モデル、グラフィックモデル、ペトリネットモデル、オブジェクト指向モデル、拡張遷移ネットモデルなどを取り上げ、その基本概念を説明する。</p>											
〔履修要件〕											
<p>特に無し。情報検索、データベース、知識表現に関する予備知識を有することが望ましい。</p>											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
<p>試験により評価を行う。</p> <p>学習の達成目標：情報検索技法（情報検索の基礎、情報の分類・ランキング、あいまいな情報の検索等）、情報の概念モデリング、時空間情報のモデリング、マルチメディア情報のモデリングに関して、その基本概念と表現方式、および、これらを用いた情報モデリングを実際に行えるために必要となる知識や技能などが獲得できていることを、試験によって評価する。</p>											
〔教科書〕											
<p>指定しない。教材は、講義ノートおよび関連文献のプリント（適宜配布）を用いる。</p>											
〔参考書等〕											
<p>講義時に適宜指示する。</p>											

[授業外学習（予習・復習）等]

講義内容に関する論文の reading など，復習を課す。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワー：メールによる事前予約のこと。

メールアドレスは以下の通り： tanaka@dl.kuis.kyoto-u.ac.jp